



来て見て学んで・・・なぎさ祭

2月17日（日）なぎさ祭が盛大におこなわれました。各教科、1年間の学習の成果を発表したり、展示したりして互いに学び合う1日となりました。当日の様子は、実際に足を運んでくださった方にはご理解いただけたと思いますが、ブログでも紹介されていますので、おわかりいただけたことでしょう。参加者の皆さんからたくさんのお誉めのことををいただき、これからもっと学びたいと意欲を持つことができました。ご協力いただいた保護者の皆様、子どもたち、先生方、ありがとうございました。

単元を通してつける言語力

国語科では、どの学年も単元全体をどのように学んでいくか教師と子どもで考えを出して計画を創ります。子どもたちは、先生に導かれるままに学習を進めていくのではなく、自分たちが取り組んでみたいゴールに向かって学び方や思考の方法や手立てを工夫しながら学びます。



学校関係者からは、「小学校の教育内容としての質の高さを感じる。」とのこと。また、一つ一つの作品や表現が丁寧で一生懸命さが伝わり、つつい見入ってしまったという声。教科の特色を生かしたコーナーは見ごたえがあると感心して見ていただき、うれしく思いました。

学習を振り返る力

子どもたちが自分の発表や出番の合間に。友だちの作品や表現のよさを感じたことが振り返りシートにも表れていて感心させられました。

正門近くのみん目の目に触れるところに、振り返りの言葉が掲示してあります。このような友だちの感じ方や見方、考え方に気づくことも大切な学習です。

主体的、対話的で深い学びとは、このような学習スタイルから生み出されるのだと思いました。「人によって絵の見方が変わることがわかった。一つの絵を見てこんなにも説明文が書ける6年生は、カッコイイと思った。」ずばりと良さを評価する力も抜群です。

異文化体験 ツアー



NZ

(ニュージーランド)や台湾・タイへのホームステイや異文化体験は、5、6年生の**プレゼンテーションの力**をもってすれば、その充実ぶりが手に取るほどよくわかります。実際に体験したことは、時を経てもしっかりと心と頭と体にしみこんでグローバルな感覚となっていくでしょう。予定した言葉を語るだけでなく聞いてくださった皆さんからの質問にも適切に答える姿を見れば、豊かな体験がもたらす知恵や考え方が実を結んでいると実感できます。



